

# 第 44 回日本分子生物学会年会

## 募 金 趣 意 書

会 期：2021 年 12 月 1 日（水）～ 3 日（金）

会 場：パシフィコ横浜

第 44 回日本分子生物学会年会

年会長 塩見 美喜子

(東京大学大学院 理学系研究科)

## ご挨拶

このたび、第44回日本分子生物学会年會を、本年12月1日（水）から3日（金）までの3日間、パシフィコ横浜にて開催する運びとなりました。本年會は国内外の大学、公的研究機関および企業に所属する生命科学とその関連分野の研究者など約7,000名を超える参加者が一堂に會する、日本の基礎研究分野における最大規模の學術集會となります。また、本年は、世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を踏まえ、オンサイトを基軸としたオンライン・プラス（ハイブリッド）形式で開催いたします。

コロナ禍という特殊事情下でありながらも、世界の第一線で活躍する国内外の研究者たちの貴重な講演の機会を損なうことのないように、現地講演に加えてオンラインでの講演も可能にするようなプラットフォームの構築を進め、さらには、ポスター発表にディスカッサー制度を採用し、若手研究者の育成にも注力してまいります。分子生物学会で初めての試みとなるハイブリッド形式の年會には会員の期待も大変厚く、その期待に沿うよう、組織委員会、学会事務局、運営事務局一同、年會の成功に向けて鋭意準備を進めているところでございます。

年會の運営にあたっては、参加登録費を増額して自主財源の確保に努めるとともに、質素儉約を旨として、冊子体のプログラム集廃止を含む制作物の簡素化、システムの見直しなど、支出の節減にも最大限の努力をいたしております。しかしながら、数千名の参加者が支障なく発表・参加できるハイブリッド開催の仕組みづくりには、現地開催を大きく上回る費用を必要とし、開催の目的を達成するには、必要かつ十分な財源を得るには至らない状況でございます。日本の基礎研究分野における最大規模の學術集會である分子生物学会年會のハイブリッド開催の成功は、他学会の指針ともなり、今後の生命科学の発展に必ず寄与するものと確信しております。甚だ恐縮ではございますが、本年會開催の趣意と意義についてご賛同いただき、ご支援、ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和3年7月吉日

第44回日本分子生物学会年會  
年會長 塩見 美喜子  
(東京大学大学院 理学系研究科 教授)



# 開催概要

1. 名 称： 第 44 回日本分子生物学会年会  
(The 44<sup>th</sup> Annual Meeting of the Molecular Biology Society of Japan)
2. 主 催： 特定非営利活動法人 日本分子生物学会  
年会長 塩見 美喜子 (東京大学大学院 理学系研究科 教授)
3. 会 期： 2021 年 12 月 1 日 (水) ~ 3 日 (金) 3 日間
4. 会 場： パシフィコ横浜  
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1  
Tel : 045-221-2155
5. 主 題： 時代を先取りした“みなと”横浜での年会
6. 参加予定人数：計 約 7,000 名 (国内 約 6,700 名、海外 約 300 名)

## 7. 年会開催の目的と意義

日本分子生物学会は、1978 年に生命現象を分子レベルで解明することを目指す研究者により創設され、現在では約 12,500 名の会員を擁する大規模学会となり、本学会がカバーする領域は幅広いものとなっております。

本学会が年一回開催する年会は、国内大学関係者、公的研究機関および企業の研究者から海外の主要大学・研究機関の科学者に至るまで、幅広い所属・分野より約 7,000 名を超える参加者が集う、日本の基礎研究分野における最大規模の学術集会となります。また、本年は、世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を踏まえ、オンサイトを基軸としたオンラインプラス (ハイブリッド) 形式での開催となります。

「分子生物学」は、臨床医学のように直接医療現場に関わる学問分野ではありませんが、「生命」に関する基礎研究の深化、発展なくして、様々な病因・病態解明への糸口を開くことはできません。医療および医薬品開発に必要な不可欠であるイノベーションを生み出す原動力は「基礎研究の充実」にあると考えます。一方で、トランスレーショナルリサーチに代表されるように、基礎研究と臨床研究の間がますます近くなってきたことも事実です。本年会において、様々な専門分野の分子生物学研究者が最新の研究内容を共有し、議論を深めることが、今後の医学・薬学の発展、ひいては人々の健康で幸せな生活の実現に向けて果たす役割は極めて大きいものと確信しております。

## 8. 開催計画の概要

シンポジウム (27 企画)、ワークショップ (89 企画)、フォーラム (13 企画)、ポスター発表 (約 2500 題予定)、高校生発表、特別企画 (富澤基金メモリアル企画、EMBO Online Lecture/Forum)、学会企画 (キャリアパス委員会企画、研究倫理委員会企画)、総会、バイオテクノロジーセミナー、付設展示、市民公開講座

日付	午前	昼	午後	夕
12 月 1 日 (水)	シンポジウム ワークショップ	バイオテクノロジーセミナー キャリアパス委員会企画	ポスター発表 シンポジウム ワークショップ	フォーラム
12 月 2 日 (木)	シンポジウム ワークショップ	バイオテクノロジーセミナー キャリアパス委員会企画	ポスター発表 シンポジウム ワークショップ	フォーラム 総会
12 月 3 日 (金)	シンポジウム ワークショップ	バイオテクノロジーセミナー 研究倫理委員会企画	ポスター/高校生発表 シンポジウム ワークショップ	市民公開講座

## 9. 年会組織

### <組織委員>

年 会 長：塩見 美喜子

組織委員長：小林 武彦（東京大学）

プログラム委員長：胡桃坂仁志（東京大学）

組 織 委 員：東山 哲也（東京大学/名古屋大学）

岩崎 由香（慶應義塾大学）

### <プログラム委員>

プログラム委員：青木 一洋（基礎生物学研究所）

赤沼 哲史（早稲田大学）

石谷 太（大阪大学）

伊藤 拓宏（理化学研究所）

伊藤 俊樹（神戸大学）

井上 梓（理化学研究所）

岩崎信太郎（理化学研究所）

岩崎 秀雄（早稲田大学）

岩崎 渉（東京大学）

大川 恭行（九州大学）

大谷美沙都（東京大学）

奥山 輝大（東京大学）

岸 雄介（東京大学）

金 倫基（慶應義塾大学）

木村 暁（国立遺伝学研究所）

糸 昭苑（東京工業大学）

倉永英里奈（東北大学）

黒田 真也（東京大学）

見學美根子（京都大学）

齋藤 成昭（久留米大学）

齊藤 典子（がん研究会）

齊藤 博英（京都大学）

佐藤 俊朗（慶應義塾大学）

佐藤美由紀（群馬大学）

清水 厚志（岩手医科大学）

志村 まり（国立国際医療研究センター）

杉本 慶子（理化学研究所）

鈴木 匡（理化学研究所）

高橋 暁子（がん研究会）

高橋 達郎（九州大学）

竹内 理（京都大学）

田代 聡（広島大学）

田中 耕三（東北大学）

西増 弘志（東京大学）

西山 朋子（名古屋大学）

久本 直毅（名古屋大学）

菱田 卓（学習院大学）

廣瀬 哲郎（大阪大学）

広田 亨（がん研究会）

山縣 一夫（近畿大学）

山口 雄輝（東京工業大学）

## 10. 寄付金募集要項

- 1) 募金の名称  
第44回日本分子生物学会年会開催寄付金
- 2) 募金目標額  
1,100万円
- 3) 募金の対象先  
日本製薬団体連合会、医薬、試薬、機器業界団体、助成財団、企業等
- 4) 募金期間  
2021年7月19日から11月30日（火）まで
- 5) 寄付金の用途  
2021年12月1日（水）～12月3日（金）の3日間、パシフィコ横浜ならびにオンラインにて開催される、第44回日本分子生物学会年会の準備、運営および関連諸行事等の費用に充当させていただきます。
- 6) 募金責任者  
塩見 美喜子 第44回日本分子生物学会年会 年会長
- 7) 申込方法  
別添の申込書をメール添付にて下記年会事務局へご送付ください。
- 8) 寄付金払込口座  
下記の口座にお振込ください。  
銀行名：三菱UFJ銀行  
支店名：神保町支店（店番013）  
口座種別：普通  
口座番号：1379927  
口座名義：第44回日本分子生物学会年会 年会長 塩見 美喜子  
(ダイオンジ ヲヨシカニホブソシエイツ ヲカイケカイ ショミ ミキコ)  
※字数制限の都合でフリガナには肩書が含まれませんが、問題ございません。
- 9) 税法上の取扱い  
免税措置はありません。
- 10) その他  
ご協賛いただきました寄付金につきましては、各社および各団体の指針に沿って公表することを了承いたします。
- 11) 申込・問合せ先  
第44回日本分子生物学会年会事務局  
(株式会社エー・イー企画 内)  
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-4-4 一ツ橋別館 4階  
Tel：03-3230-2744 Fax：03-3230-2479  
E-mail：mbsj2021@aeplan.co.jp

## 1.1. 収支予算

### 【収入の部】

項目	内訳	金額
<b>I 参加費収入</b>		57,675,000
1 正会員 事前	11,000 × 2,400 名	26,400,000
2 学生会員 事前	3,000 × 1,700 名	5,100,000
3 学部学生 事前	500 × 100 名	50,000
4 非会員 事前	15,000 × 250 名	3,750,000
5 正会員 当日	13,000 × 700 名	9,100,000
6 学生会員 当日	4,000 × 200 名	800,000
7 学部学生 当日	500 × 950 名	475,000
8 非会員 当日	17,000 × 700 名	11,900,000
9 展示会参加者	2,000 × 50 名	100,000
<b>II 主催団体補助金</b>		10,000,000
1 日本分子生物学会本部 補助金 I		5,000,000
2 日本分子生物学会本部 補助金 II (国際化支援)		5,000,000
<b>III プログラム販売</b>		56,000
1 オンライン要旨ID/PW (非会員)	10,000 × 5 件	50,000
2 オンライン要旨ID/PW (会員)	3,000 × 2 件	6,000
<b>IV 助成金</b>		1,900,000
1 ワークショップ・フォーラム開催助成 (冠費用)	100,000 × 19 件	1,900,000
<b>V 広告関係費</b>		7,260,000
1 ホームページバナー広告	220,000 × 10 枠	2,200,000
2 シンポジウム協賛プレゼンテーション (講演前)	176,000 × 15 枠	2,640,000
シンポジウム協賛プレゼンテーション (講演後)	88,000 × 15 枠	1,320,000
3 スクリーン広告	110,000 × 5 枠	550,000
4 その他広告	550,000 × 1 式	550,000
<b>VI 商業展示出展料</b>		68,380,400
1 Aタイプ	385,000 × 135 小間	51,975,000
2 Aタイプ (2次)	423,500 × 15 小間	6,352,500
3 Bタイプ	132,000 × 15 小間	1,980,000
4 Bタイプ (2次)	145,200 × 2 小間	290,400
5 ACタイプ	220,000 × 6 小間	1,320,000
6 その他別小間	137,500 × 5 小間	687,500
7 NBRP特別展示	137,500 × 30 小間	4,125,000
8 NBDC特別展示	137,500 × 12 小間	1,650,000
<b>VII バイオテクノロジーセミナー</b>		12,100,000
1 バイオテクノロジーセミナー共催費	1,100,000 × 10 枠	11,000,000
2 オンラインセミナー共催費	220,000 × 5 枠	1,100,000
<b>VIII 寄付金</b>		11,000,000
<b>合計</b>		168,371,400

### 【支出の部】

項目	金額
<b>I 事前準備関係費</b>	29,348,838
1 旅費・交通費	100,000
2 庁費	29,248,838
(1)印刷費・制作費	15,707,800
(2)通信・運搬費	2,598,000
(3)会合費・旅費	150,000
(4)事務費	10,793,038
<b>II 当日運営関係費</b>	137,436,338
1 人件費	9,862,000
2 旅費・交通費	2,650,000
3 会場関係費	49,803,018
4 機材・備品費	24,480,000
5 看板装飾・ポスターパネル費	11,700,000
6 展示関係費	17,500,000
7 招請関係費	5,691,300
8 業務委託費	15,750,020
<b>III 事後処理費</b>	1,314,000
1 会計監査費	352,000
2 税理・会計事務経費	162,000
3 オンライン要旨アーカイブ化費用	800,000
<b>IV 予備費</b>	272,225
<b>合計</b>	168,371,400

**【ご送付先】 E-mail: [mbsj2021@aeplan.co.jp](mailto:mbsj2021@aeplan.co.jp)**

第44回日本分子生物学会年会事務局  
株式会社 エー・イー企画 宛  
申込締切：2021年11月30日（火）

年 月 日

## 第44回日本分子生物学会年会 寄付申込書

第44回日本分子生物学会年会 御中

金 円也

第44回日本分子生物学会年会開催の趣旨に賛同し、上記金額を寄付金として申し込みます。

貴社/団体名		
所在地	(〒 ) 住所	
ご担当者	氏名	TEL.
	所属部課	FAX.
	E-mail ※必須：お申込み後はE-mailでのご案内がございます。	

口座振込予定日： 年 月 日

■ 備考

--